

科目名	調査の設計と方法			ナンバリング	SOC231	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	前田悟志	担当教員					

授業の概要	この授業の目的は、社会調査によって資料やデータを収集・構築し、分析にまで至る具体的なメソッド(方法)を学ぶことである。自治体の意識調査から、内閣支持率・選挙予測調査、テレビ視聴率調査まで、さまざまな調査結果が日々報告されている。しかし、質問の仕方が不適切な調査や、対象者に偏りがみられる調査などが少なくない。質問紙調査は、その方法がでたらめだと、全く意味のないものになってしまう。この授業では質問紙調査に焦点をあわせて、ゼミや卒論で自ら調査を実践し、社会に向けてデータを発信できる力を身につけることを目標とする。						
到達目標	1. 質問紙調査を実施するための基本的な用語を理解することができる。 2. 自らの問題関心に基づいて質問紙調査を設計することができる。 3. 質問紙調査で得られたデータに関して基本的な分析を実施することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	各授業において、教科書の関連する箇所を事前に読んでおくこと。授業終了後は配付資料をもう一度読み、授業を振り返ってポイントを整理しておくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 質問紙調査における基本的な考え方・進め方を理解することができる。 2. 質問紙調査を実施する上での各ステップの進め方について理解することができる。 3. 基礎的な統計上の概念について理解することができる。	1. 質問紙調査における基本的な概念を理解し、その上で質問紙調査を実施することができる。 2. 質問紙調査における方法について理解し、質問紙調査を企画・実施することができる。 3. 基礎的な統計上の概念について理解し、実際に分析することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
学期末レポート	○	○	○				35%
授業外小課題	○	○			○		45%
授業態度・授業への参加			○	○	○		10%
出席			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	個別・グループ別の調査・分析の過程と結果についてフィードバック。
---------------	----------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	講義の進め方、受講に際しての注意点について解説する。授業支援システムの使い方についても解説する。	
	第2回	サーベイ調査の企画立案(1)	質問紙調査を企画し、実際におこなう際の基礎的な知識について解説する。	
	第3回	サーベイ調査の企画立案(2)	調査のテーマに基づき仮説を立てる。	
	第4回	調査票の作成(1)	質問文の作り方について解説する。	
	第5回	調査票の作成(2)	仮説を検証するための質問文を作成する。	
	第6回	サンプリング，調査票の配布と回収	・サンプリングの考え方とその方法について、実際に対象者を抽出できるよう解説する。 ・調査票を配布・回収する方法について、郵送調査と面接調査を中心に解説する。	
	第7回	データ入力とデータ作成(1)	エディティングとコーディングの仕方、データファイルの作成の仕方とその際の注意点について解説する。	
	第8回	データ入力とデータ作成(2)	エディティングとコーディングの仕方、データファイルの作成の仕方とその際の注意点について解説する。	
	第9回	単純集計票の作成とデータの加工(1)	単純集計表を作成し、調査で得られたデータについてカテゴリーを統合するなどの方法について解説する。	
	第10回	単純集計票の作成とデータの加工(2)	実際に単純集計表を作成し、それについて分析する。	
	第11回	クロス表の作成	クロス表の読み方、作成の方法について解説する。	
	第12回	相関係数	エラボレーションの考え方、三重クロス表の作成方法について解説する。	
	第13回	統計的検定	統計的検定の考え方について解説する。	
	第14回	調査結果のまとめ方	質問紙調査によって得られたデータをどのようにまとめればいいのか、その方法について解説する。	
	第15回	まとめ	第2回から第14回までのまとめ。	
	試験			
授業の進め方		講義と、それに対応する個人・グループでの模擬調査を設計・実施していただきます。		
授業外学習の指示		個人・グループ別の調査の実施，分析．オンラインや簡便に入手可能なデータを使用． (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	未定
参考書	
参考URLなど	
その他	